

## 《2020年 アジア都市景観賞受賞案件》

○本年度受賞案件 全13件

※エントリー総数 24件 (6か国)

日本 3案件

### 【アジア都市景観賞】

長崎市(長崎県) 環長崎港地域アーバンデザインシステムによるまちづくり

三島市(静岡県) 「水の都・三島」の環境資源を地域協働で再生して「水と緑の湧水網都市」  
創造事業”

大分市(大分県) 線路敷ボードウォーク広場 (大分歴史回廊)

海外 10案件

### 【アジア都市景観賞】

韓国:3件、中国:3件、タイ:1件、ネパール:1件

### 【アジア都市景観賞 審査員賞】

マレーシア:1件、韓国:1件

### 【アジア都市景観賞 Asian Townscapes Award. 】

審査員による採点の結果、評価基準に照らして一定水準以上に達した案件に授与される。

### 【アジア都市景観賞 審査員賞 Asian Townscapes Jury's Award. 】

審査員の審議により、授賞水準に到達する可能性がきわめて高く、今後さらなる取組みが期待できる案件。あるいは、優れた内容の未完プロジェクトなどで審査員賞の授与を契機に発展的な進捗が期待できる案件に対し奨励的に授与される。

○第1回～第11回の授賞数は累計で「16か国、104都市・地域、136案件」となります。

## 《ご参考》

### 主催団体の概要

#### ● 国連ハビタット福岡本部

国連ハビタットは都市化と居住の問題に取り組む国連機関であり、その使命は政策提言、能力開発、国際・地域・国家・地方といったレベルでのパートナーシップ構築を通して、社会的、環境的に持続可能なまちや都市づくりを促進することである。各国政府・地方自治体・NGO・民間のほか、他の国連機関とともに活動を行っており、人間居住に関する関心を高めるなどの情報提供活動を行っている。福岡本部は、地域レベルでの事業活動強化と本部機能の分散化を図るため「アジア太平洋地域事務所」として平成9年8月開設。

#### ● アジアハビタット協会

環境や生態系、歴史的文化遺産と調和した都市開発の重要性について関心と認識を高めるため、平成16年2月に香港で設立された学術団体。アジア各国と地域の人間居住環境領域の専門家が発足し、自主性を重んじる非政府系の学術団体として、人間居住環境建設領域の国際協力及びアジアの地域間協力を大いに力を注ぎ、アジア各国の人間居住環境科学の理論研究と実践活動を支援している。

- 福岡アジア都市研究所  
福岡市や市民・産業界・学会などの協力と連携のもとに都市政策を研究し、アジアの視点を取り入れながら、将来の都市戦略を提言する研究機関。「財団法人福岡都市科学研究所（昭和63年設立）」と「財団法人アジア太平洋センター（平成4年設立）」を統合し平成16年発足。
- アジア景観デザイン学会  
景観材料に係わる企業を中心に平成9年から開催してきた「九州景観材料研究会」を母体とし、大学、経済産業省、国土交通省、福岡県、福岡市、北九州市と景観に関わる企業が一体となって、アジアにおける景観の諸課題に取り組む国際学会として平成16年発足。

#### ◆ 資料

##### 1. 概要

アジア都市景観賞は、アジアの人々にとって幸せな生活環境を築いていくことを目標に、国連ハビタット福岡本部、アジア人間居住環境協会、アジア景観デザイン学会、そして福岡アジア都市研究所の4団体によって、2010年に創設された景観に関する国際賞です。アジアの優れた景観をアピールし、また、発展を続ける景観形成事業を評価・顕彰することによって、アジアの景観を誇らしいものに導いていくことを目的に掲げ、他都市の模範となる優れた成果をあげた都市、地域、プロジェクト等を各国・地域から募集・選考し、表彰するものです。

##### 2. アジア都市景観賞のねらい

- ・ 貴重な伝統・文化・習慣・歴史的意義の深い建造物や街並み、空間をアジア共通の資産として保全し、次の世代へ継承していくこと。
- ・ 各都市における美しい都市景観づくりの政策・計画・事業や活動から相互に学ぶ交流の機会を創出すること。
- ・ それに係る関係者（行政や企業）、市民の努力を認知し、一層の当事者意識の形成や啓発に寄与すること。

##### 3. 評価基準

- ・ 地球環境に優しく、共存するものであるか
- ・ 安全で利用者に優しく、持続性があるか
- ・ 地域の文化、歴史を尊重しているか
- ・ 芸術性が高いか
- ・ 地域の発展に貢献し、他都市の模範となるか

##### 4. 選考委員

国連ハビタット福岡本部	本部長	是澤 優
	本部長補佐官	星野 幸代
	調整官	溝上 奈緒美
アジアハビタット協会	主席	劉 興達
	秘書長	肖 溪
アジア景観デザイン学会	名誉会長	佐藤 優
	会長	坂井 猛
福岡アジア都市研究所	副理事長	水町 博之
	常務理事	梯 浩一
佐賀大学教授、都市計画学会九州支部幹事		有馬 隆文
韓国釜山大学校工科大学教授		禹 申九
韓国西京大学校教授		金 俊榮

韓国建築都市空間研究所リサーチフェロー  
国連ハビタット中国代表  
中国浙江建築科学設計研究院 チーフプランナー  
九州大学人間環境学研究院 都市・建築学部門准教授

沈 愨美  
張 振山  
陳 安華  
プラサンナ ディビガルビティヤ

## 5. 2010年～2019年 アジア都市景観賞 授賞案件

### ◇2010年アジア都市景観賞（第1回）

テーマ「グリーンアジア・美しい都市」

6か国・地域から11案件（日本3、中国4、韓国1、シンガポール1、香港1、マカオ1）

日本の受賞案件

札幌市 「モエレ沼公園」

福岡市 「シーサイドももち整備事業（海浜公園）」

熊本県小国町 「黒川温泉地区景観づくり事業」

### ◇2011年アジア都市景観賞（第2回）

テーマ「人間環境と都市復興」

4か国から10案件（日本4、中国3、韓国2、タイ1）

日本の受賞案件

広島市 「原爆による廃墟からの都市復興」

熊本市 「熊本城復元整備とまちづくり」

神戸市 「ガーデンシティ舞多間みつけいけプロジェクト」

福岡市 「福岡市都市景観賞」

### ◇2012年アジア都市景観賞（第3回）

テーマ「住みよいまち、豊かな生活」

4か国・地域から9案件（日本2、中国3、韓国3、香港1）

日本の受賞案件

倉敷市 「倉敷美観地区」

鹿児島市 「鹿児島市の市電軌道緑化整備事業」

### ◇2013年アジア都市景観賞（第4回）

テーマ「都市の誇りを育む景観」

5か国から11案件（日本3、中国3、韓国2、インドネシア1、ベトナム2）

日本の受賞案件

長崎市 「出島復元整備事業とまちづくり」

松江市 「縁雫（えにしずく）による雨の日の松江プロジェクト」

北九州市・下関市 「関門海峡が結ぶ景観に配慮したまちづくり」

### ◇2014年アジア都市景観賞（第5回）

テーマ「未来へ幸せをつなぐ景観」

6か国から12案件（日本4、中国3、韓国2、ネパール1、バングラデシュ1、スリランカ1）

日本の受賞案件

岩手県 「東日本大震災からの復興の象徴『三陸鉄道』」

姫路市 「保存修理を通じて次世代に継承する人類の文化遺産姫路城とまちづくり」

福岡市 「博多駅を中心とした連携整備プロジェクト」

竹田市 「竹田地区街なみ環境整備事業 ～歴史的風致を活かした景観まちづくり～」

◇2015年アジア都市景観賞（第6回）

5か国から11案件（日本3、中国3、韓国2、ベトナム2、スリランカ1）

日本の受賞案件

南魚沼市 「三国街道塩沢宿『牧之通り』」

萩市 「『萩まちじゅう博物館構想』による萩のまちづくり」

福岡県 「筑後地域の景観形成」

◇2016年アジア都市景観賞（第7回）

7か国15案件（日本4、中国4、韓国3、ミャンマー1、ベトナム1、バングラデシュ1、パキスタン1）

日本の受賞案件

松山市 「日本最古の道後温泉を舞台にした景観整備と最先端アートのまちづくり」

東川町 「東川町立東川小学校・地域交流センターを核とした地域環境整備」

小松市 「小松駅周辺整備事業 ～こまつの杜、サイエンスヒルズこまつ～」

玖珠町 「玖珠町森地区街なみ環境整備事業」

◇2017年アジア都市景観賞（第8回）

6か国15案件（日本4、中国4、韓国3、インド2、ベトナム1、インドネシア1）

日本の受賞案件

柏市 「柏の葉国際キャンパスタウン・プロジェクト」

草津町 「湯けむりのゆらぎを世界に発信するまちづくり」

十津川村 「大水害を契機とした十津川村の『新たな集落づくり』への取り組み」

豊後高田市 「昭和30年代の懐かしさと温かさが交差するまちづくり～豊後高田昭和の町～」

◇2018年アジア都市景観賞（第9回）

6か国15案件（日本4、中国4、韓国4、ベトナム1、アフガニスタン1、フィリピン1）

日本の受賞案件

香川県 「瀬戸内国際芸術祭」

福岡市 「福岡アイランドシティ照葉のまちづくり」

女川町 「東日本大震災からの復興事業『海を眺めて暮らす女川のまちづくり』」

松山市 「松山城の自然・歴史と俳句文化が融合した現代の城下町」

◇2019年アジア都市景観賞（第10回）

7か国14案件（日本3、韓国3、中国4、インド1、インドネシア1、マレーシア1、  
バングラデシュ1）

日本の受賞案件

帯広市 「『帯広の森』による都市と農村の交流エリアづくり」

内子町 「街並み保存から村並み保存、そして山並み保存へ」～持続的に発展する内子のまちづくり～

田川市 「産業遺産を活かしたまちづくり」～炭坑節のふるさと・田川市～

以上